

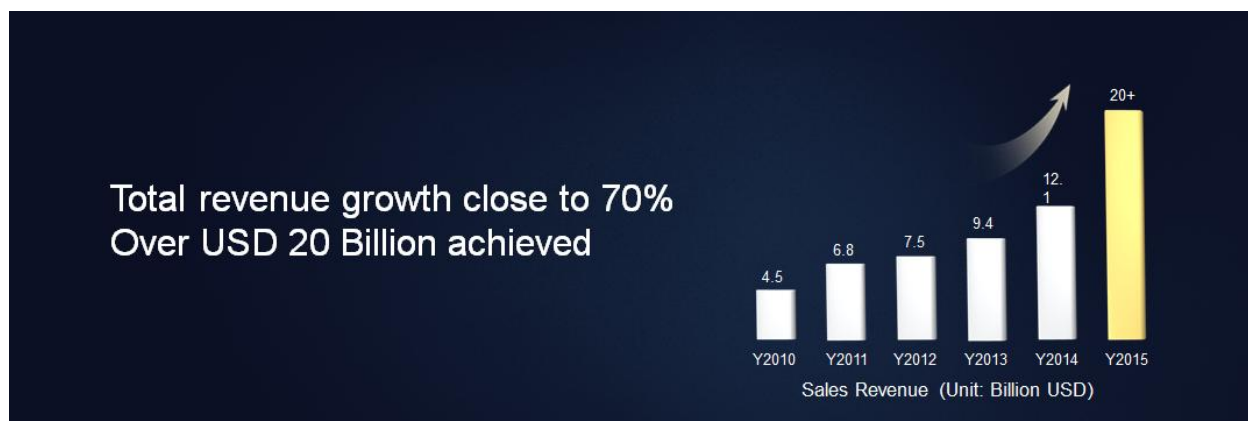
2016年1月12日
華為技術日本株式会社

ファーウェイ、2015年のスマートフォン出荷台数は1億800万台、 年間売上高は200億米ドル超える

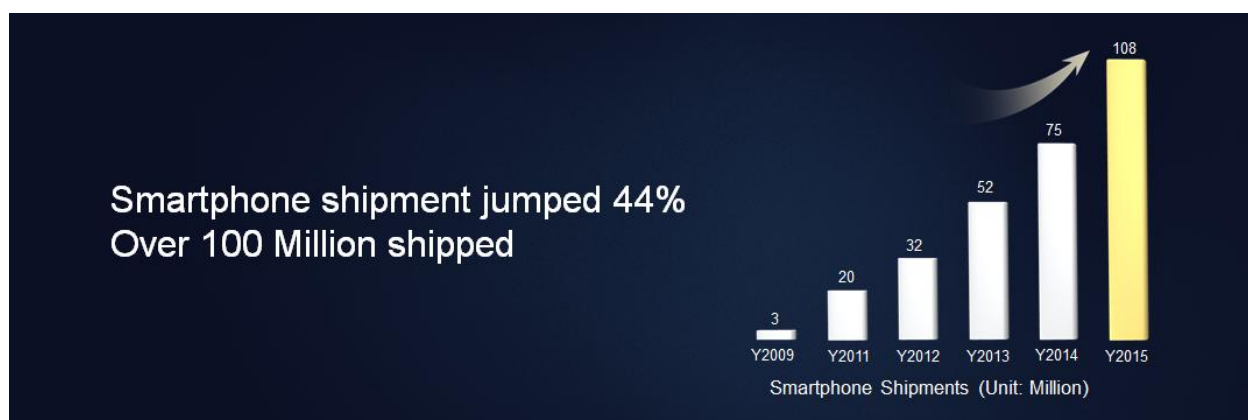
前年比70%増で記録的な年に

本参考資料は2016年1月5日(現地時間)に米国ラスベガスで発表されたプレスリリースの翻訳です

ファーウェイ(中国語表記: 華為、英語表記: HUAWEI)のコンシューマー・ビジネス・グループ(CBG)は本日CES2016にて、2015年度の業績が前年に比べて飛躍的に伸びたことを発表しました。2015年度のファーウェイの年間売上高は200億米ドルを超え、2014年と比較すると70%近い売上増となりました。さらに、前年比44%増の1億800万台のスマートフォンを2015年に出荷し、中国を先導するスマートフォンメーカーとなりました。



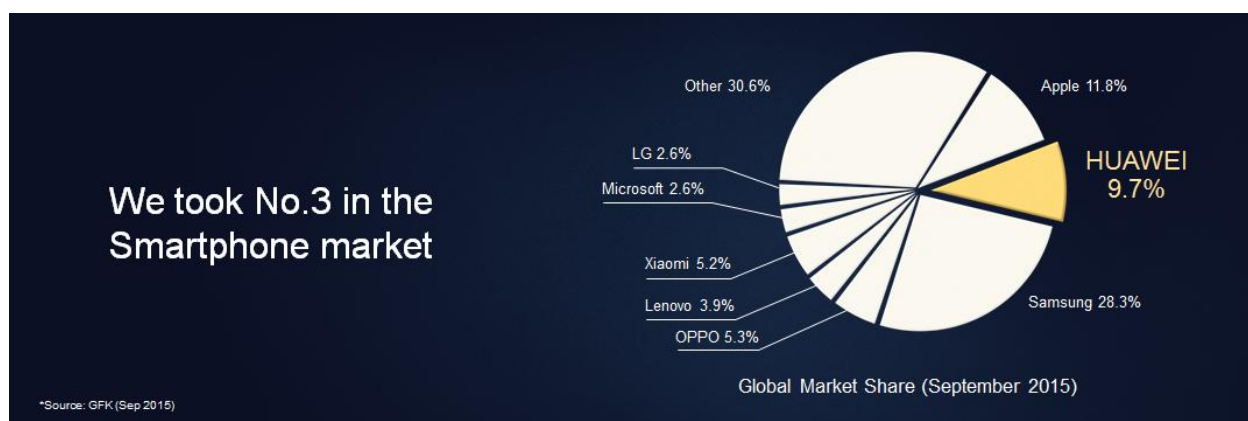
年間売上高200億米ドル強(前年比約70%の売上増)



スマートフォン出荷台数は前年比44%増の1億800万台

グローバル市場で大幅に成長、中国国内ではスマートフォンのトップブランド

2015年にファーウェイが1億800万台のスマートフォンを出荷したことで、競合他社との差を大幅に縮めながらグローバルでのマーケットシェアにおいて上位3位以内の地位をより強固にしました。さらに、2015年3月以来、ファーウェイは中国国内のマーケットシェアで1位を獲得し続け、その間にハイエンドスマートフォン、『HUAWEI P8』と『HUAWEI Mate S』の2種を発売しました。中国での躍進と並行して、ファーウェイはグローバル市場、特に西ヨーロッパのハイエンドスマートフォン市場(端末価格が400~500ユーロ)でも大成功を収め、スペイン、イタリア、ベルギー、スイス、ポルトガル及びその他の国において、各国のマーケットシェアのトップ3にランクインしております。



グローバルでのマーケットシェアでは3位にランクイン

ファーウェイはまた、ブランド認知度を拡大し続け、特筆すべき成果をあげています。

- インターブランドのグローバル・ブランドランキングTOP100で88位。2014年の94位からランクを上げた。
- BrandZ世界ブランドランキング100では、グローバルで価値の高いブランドの70位。
- 世界的に有名な調査会社IPOSの報告では、ブランド認知度成長部門で1位。2014年の65%から2015年は76%へ跳ね上がり、今では消費者の75%以上がファーウェイのスマートフォンを認識しています。
- 昨年と比べると、ブランド認知度はヨーロッパで大幅に伸びました。ポルトガル(87%)、イタリア(82%)、スペイン(79%)、オランダ(73%)、ドイツ(68%)。
- 鍵となるグローバル市場でファーウェイのブランド認知度が伸びたため、ネット・プロモーター・スコア(NPS)が47に上がり、世界3位にランクインしました。

『HUAWEI P8』、『HUAWEI Mate 7』、『HUAWEI Mate S』、『Nexus 6P』など、ファーウェイの端末は2015年のグローバル市場で好評を博しました。

- 『HUAWEI P8』の出荷台数はグローバルで450万台に達し、北ヨーロッパのLjud & Bildから「Best Recommendation(おすすめ)賞」、デンマークのTech-Testから「ホワイト ゴールド賞」、ノルウェーのレビューサイトDinsideから「Recommended Product(おすすめ製品)賞」などを獲得しました。
- 『HUAWEI Mate 7』の2015年出荷台数は700万台を超え、「BEST of IFA 2014」を獲得しました。また、Android Authority、GSM ArenaやTom's Guideでも受賞しています。
- アジアとヨーロッパの48ヶ国で発売された『HUAWEI Mate S』は、発売後4か月で出荷台数が80万台を超えました。また、グローバル テクノロジー メディア GIGA及びAndroidPITの双方から「BEST of IFA 2015」をはじめ、9つのグローバルアワードを受賞しました。

- Googleとのコラボレーションで開発された『Nexus 6P』は、Googleストアで発売後わずか1ヶ月で売り切れになり、北アメリカで売上を伸ばしました。世界的に見ると、『Nexus 6P』は60を超える国や地域で販売され、発売後すぐに人気商品となり、IT系メディアから優れたレビューをいただきました。さまざまな大手メディアの推薦を受け、「Holiday Season Recommendation (ホリデーシーズンのおすすめ製品)」、「Editor's Choice」、「Best of 2015」のファイナリストになり、ファーウェイの技術開発、プロダクトデザイン、製造技術の強さを世界に示しました。



『Nexus 6P』のゴールド



『HUAWEI Mate 8』

コラボレーションと研究に注力、未来のイノベーションリーダーを目指す

ファーウェイの高い業績は、イノベーションと研究開発への膨大な投資による結果と言えます。中国、ドイツ、スウェーデン、ロシア、インドなど世界中に16の研究拠点を設立しており、2014年、ファーウェイは76,687件の特許(内18,000件はデバイスに関するもの)を申請する一方で、年間売上高の14.2%を研究開発投資に充てました。

より素晴らしいユーザー体験を提供するため、ファーウェイは自社開発のイノベーションを最新の端末に適用しています。例えば『HUAWEI Mate 8』の独自ISPを初めて開発するため、3年間に渡り9,800万米ドルを投資し、フランスで研究チームを立ち上げました。これにより速いフォーカス、鮮明な画質、正確な彩色での写真撮影を実現しました。さらに、『HUAWEI Mate S』に導入された「Press Touch」技術は、従来の2方向のタッチスクリーンコントロールの常識を打ち破り、人間と端末の新しいコミュニケーション手法を開拓しました。さらには、認識スピードを倍の速さまで引き上げた「Fingerprint 2.0」技術や、ナックルセンスの動作が、ユーザーから好評を得ています。

ファーウェイはCES2016で、より素晴らしいユーザー体験を実現するための、世界のトップブランドとのパートナーシップを発表しました:

- ファーウェイはSwarovskiと提携し、世界初の女性向けスマートウォッチ『HUAWEI Watch Jewel』を発表しました。『HUAWEI Watch Jewel』は、文字盤にスワロフスキー・ジルコニアを68個散りばめており、イタリア製のクロコダイル・カーフスキンのストラップはスマートウォッチのエlegantさや機能性にマッチするデザインとなっています。
- 世界を先導するオーディオブランドHarman Kardonと提携し、オーディオ・ヴィジュアル市場において最先端のタブレット『HUAWEI MediaPad M2 10.0』を発表しました。
- Googleとのコラボレーションで開発された『Nexus 6P』は、端末のデザインや品質が前Nexusモデルを凌いだことにより、ファーウェイの世界での認知度を高めました。
- 自動車産業においては、GM、Volkswagen、PSA Peugeot Citroenなどのトップ企業と提携し、4G LTE モジュールを搭載したコネクテッドカーの開発に貢献しました。
- Hilinkに準拠した統合型スマートデバイス規格プロトコル『HUAWEI LiteOS』を発売し、スマートホーム市場にも参入しました。Haier、Midea、Skyworth、Broadlinkを含む60社以上の企業と協力関係を確立しました。
- テクノロジーとファッションの融合にも注力し、ミラノファッションウィーク開催中、VOGUEとコラボレーションしました。世界的に有名なファッションフォトグラファーのマリオ・テストイーノとトップモデルのカーリー・クロス、シヨーン・オプリーを広告に起用したことで、ヨーロッパでの売上が大幅に伸びました。

2016年、ファーウェイはフラグシップ製品からスマートホーム、クラウドサービスに至るまで、コラボレーションの精神で業界の各トップブランドと引き続きパートナー提携を進めていきます。先進技術、イノベーション、コラボレーションを通して、ファーウェイはお客様に最新のテクノロジーを用いた製品を引き続き提供していきます。消費者が求める未来のデバイスとパートナーの先進技術を統合することで、新たな最先端の製品が誕生し、素晴らしいユーザーエクスペリエンスをもたらすことでしょう。